



Dell Command | Update

バージョン 3.1 ユーザーズ ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

1 Dell Command Update の概要	4
Dell Command Update バージョン 3.1 の新機能.....	4
2 Dell Command Update バージョン 3.1 のインストール、アンインストール、およびアップグレード	5
対応オペレーティングシステム.....	5
Dell Command Update のダウンロード.....	5
Dell Command Update のインストール.....	5
サイレントインストール.....	6
Dell Command Update for Windows 10 のアンインストール.....	6
Dell Command Update for Windows 32 ビット バージョンのアンインストール.....	6
Dell Command Update のアップグレード.....	6
3 Dell Command Update の機能	8
アップデートのインストール.....	8
アップデートの選択.....	8
選択のカスタマイズ.....	9
依存関係のインストール.....	10
Windows の再インストールのためのドライバの詳細な復元.....	11
アップデート履歴.....	11
アップデート履歴の表示.....	11
システム情報の表示とエクスポート.....	12
アクティビティログ.....	12
アクティビティログの表示とエクスポート.....	12
ご意見をお聞かせください.....	13
4 Dell Command Update の設定	14
一般設定.....	14
アップデートソースの場所.....	15
アップデート設定.....	15
アップデートフィルタ設定の実行.....	16
設定のインポートまたはエクスポート.....	16
高度なドライバの復元の設定.....	16
BIOS.....	17
システムパスワード.....	17
BitLocker の一時停止.....	17
5 Dell Command Update コマンドライン インターフェイス	18
コマンドラインインタフェースリファレンス.....	18
コマンドライン インターフェイスのエラーコード.....	26

Dell Command | Update の概要

Dell Command | Update は、1対1のスタンドアロンユーティリティーで、これを使用して Dell クライアントシステムを最新のドライバー、BIOS、アプリケーション、およびファームウェアでアップデートできます。Dell Command | Update を使用する利点は次のとおりです。

- ・ Dell クライアントシステムのシステム管理とアップデートを単純化します。
- ・ 使いやすい CLI で、ドライバインストールおよびアップデートの自動化に使用できます。
- ・ 使いやすい GUI は、システムに適切なアップデートを識別して適用するために役立ちます。

その他の製品ガイドについては、dell.com/support/manuals を参照してください。

トピック：

- ・ [Dell Command | Update バージョン 3.1 の新機能](#)

Dell Command | Update バージョン 3.1 の新機能

本リリースの Dell Command | Update の新機能および拡張機能は、次のとおりです。

- ・ システムに搭載された BitLocker 暗号化ドライブでの BIOS アップデートのサポート
- ・ コマンドラインインターフェイス (CLI) のサポート
- ・ アップデートスケジュール (週に1回、または月に1回) のサポート

Dell Command | Update バージョン 3.1 のインストール、アンインストール、およびアップグレード

このセクションでは、Dell Command | Update のインストール、アンインストール、およびアップグレードについて説明します。

メモ: Dell Command | Update では、利用できるダウンロードファイルが 2 種類あります。

1. **Windows 10 RS1 ビルド#14393 以降でのみサポートされるユニバーサル Windows プラットフォーム バージョン (64 ビットオペレーティングシステム)**
2. **Windows 32 ビット バージョン**

トピック：

- ・ [対応オペレーティングシステム](#)
- ・ [Dell Command | Update のダウンロード](#)
- ・ [Dell Command | Update のインストール](#)
- ・ [Dell Command | Update for Windows 10 のアンインストール](#)
- ・ [Dell Command | Update for Windows 32 ビット バージョンのアンインストール](#)
- ・ [Dell Command | Update のアップグレード](#)

対応オペレーティングシステム

Dell Command | Update 3.1 Windows 32 ビット パッケージは、次のオペレーティングシステムをサポートします。

- ・ Microsoft Windows 7 Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット)
- ・ Microsoft Windows 8 Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット)
- ・ Microsoft Windows 8.1 Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット)
- ・ Microsoft Windows 10 Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット)

Dell Command | Update for Windows 10 (RS1 ビルド#14393 (x64)) 以降がサポートされます。

Dell Command | Update のダウンロード

最新バージョンの Dell Command | Update をダウンロードするには、次の手順に従います。

1. <https://www.dell.com/support/article/sln311129> にアクセスします。
2. 要件に応じて、ユニバーサル Windows プラットフォーム バージョンまたは Win32 バージョンのいずれかを選択します。
3. 「利用可能な形式」セクションで、[ファイルのダウンロード] をクリックします。

Dell Command | Update のインストール

Dell Command | Update をインストールするには：

1. Dell サポート サイトからダウンロードした.exe ファイルをダブルクリックします。
2. **インストール** をクリックします。

メモ: Dell Command | Update をインストールするには、管理者権限が必要です。

3. ようこそ 画面で、**次へ** をクリックします。
4. ライセンス契約画面で**ライセンス契約の条件に同意します**を選択してから、**次へ**をクリックします。
5. インストールの**開始**画面で、**インストール** をクリックします。

6. インストール中に、改善プログラムへの同意画面にある **はい**、プログラムに参加します オプションをクリックして、Dell Command | Update 改善プログラムに参加できます。
7. インストールの準備完了 ウィンドウで、インストール をクリックします。
8. インストール完了画面で 終了 をクリックします。

サイレントインストール

Dell Command | Update のサイレント インストールを実行するには、コマンド プロンプトを使用して、管理者権限で次のコマンドを実行します。 `Dell-Command-Update_XXXXXX_WIN_y.y.y_A00.EXE /s`

オプションでインストール ログを取得するには、次のコマンドを実行します。 `Dell-Command-Update_XXXXXX_WIN_y.y.y_A00.EXE /s /l="C:\log path\log.txt"`

Dell Command | Update for Windows 10 のアンインストール

次の処置を行います。

- ・ **開始** をクリックします。
- ・ [**コントロール パネル**] を選択して、[**プログラム**] または [**プログラムと機能**] (推奨) をクリックします。
- ・ [Dell Command | Update] を選択して、[**アンインストール**] をクリックします。

または

- ・ [**Windows の設定**] を開きます
- ・ [**システム**] を選択し、[**アプリと機能**] をクリックします
- ・ [Dell Command | Update] を選択して、[**アンインストール**] をクリックします。

コマンド プロンプトを使用して Dell Command | Update for Windows 10 をアンインストールするには、管理者権限で次のコマンドを実行します。 `Dell-Command-Update_XXXXXX_WIN_y.y.y_A00.EXE /x`

Dell Command | Update for Windows 32 ビットバージョンのアンインストール

次の処置を行います。

- ・ **開始** をクリックします。
- ・ [**コントロール パネル**] を選択して、[**プログラム**] または [**プログラムと機能**] (推奨) をクリックします。
- ・ [Dell Command | Update] を選択して [**アンインストール**] をクリックします。

または、Windows 10 オペレーティングシステムでは、次の操作を実行します。

- ・ [**Windows の設定**] を開きます
- ・ [**システム**] を選択し、[**アプリと機能**] をクリックします
- ・ [Dell Command | Update] を選択して [**アンインストール**] をクリックします


コマンド プロンプトを使用して Dell Command | Update for Windows 32 ビット パッケージ バージョンをアンインストールするには、次のコマンドを管理者権限で実行します。 `Dell-Command-Update_XXXXXX_WIN_y.y.y_A00.EXE /x`

Dell Command | Update のアップグレード


次の方法で、Dell Command | Update をアップグレードできます。

- ・ **手動アップデート** : dell.com/support から Dell Command | Update 3.1 をダウンロードしてインストールします。詳細については、「[アップデートのインストール](#)」を参照してください。

新バージョンのインストール時に、アップグレードを求めるプロンプトがインストーラー内で表示されたら、[**はい**] を選択してアップグレードを続行します。

 **メモ**: アップグレードは次のようにサポートされます。

- **Dell Command | Update for Windows 10** (ユニバーサル Windows プラットフォーム) は、バージョン **3.0** 以降からバージョン **3.1** にアップグレードできます。
- **Dell Command | Update (Windows 32)** は、バージョン **2.4** から **3.1** にアップグレードできます。
- ・ **セルフアップデート**：アプリケーションがすでにインストールされている場合は、アプリケーションを起動し、[ようこそ] 画面の [チェック] ボタンをクリックしてアップデートを確認します。Dell Command | Update の新バージョンが公開されている場合、最新バージョンの Dell Command | Update が [推奨さアップデート] の下にリストされます。そのアップデートを選択して、アプリケーションの新しいバージョンをインストールします。

 **メモ**: アップグレード中、アプリケーションの設定は保持されます。

Dell Command | Update の機能

アップデートのインストール

DELL システムでアップデートを確認してインストールするには、次の手順を実行します。

- [ようこそ] 画面で、[チェック] をクリックします。
 - Dell Command | Update は、**Downloads.dell.com** に接続してアップデートをチェックします。
 - [キャンセル] をクリックすると、アップデートをチェックせずに前の画面に戻ります。ソースの場所の変更の詳細については、「[一般設定](#)」を参照してください。

[アップデートのチェック] タスクが開始し、[アップデートのチェック] 画面が表示されます。

[アップデートのチェック] タスクには、次の内容が含まれます。

 - コンポーネントのアップデートのチェック
 - システムデバイスのスキャン
 - 使用可能なアップデートのチェック

アップデートのチェック 画面には、システムスキャンのステータスが表示されます。アップデートが見つかったと、Dell Command | Update によって、アップデートをインストールするためのプロンプトが表示されます。

アップデートが見つからない場合は、[**使用可能なアップデートがありません**] メッセージが表示され、システム上のデバイスが最新の状態であることが示されます。[**閉じる**] をクリックして Dell Command | Update を終了します。

設定したアップデートの可用性と設定に基づいて、**使用可能なアップデートがありません** メッセージが表示されます。このメッセージは、次のようなシナリオで表示されます。

 - デフォルトのフィルターを変更して、フィルター基準に適合したアップデートが見つからない場合。フィルター基準を変更して利用可能なアップデートを取得します。
 - デフォルトの [**アップデート フィルター**] 設定を維持しており、使用できるアップデートがない場合。
- [**詳細表示**] をクリックして、システムにインストールするアップデートを選択します。**選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。

詳細に関しては、「[アップデートのカスタマイズ](#)」を参照してください。
- 必要に応じて、アップデートのインストール後に Dell Command | Update が自動的にシステムを再起動するように設定するには、[**システムを自動的に再起動する (必要な場合)**] を選択します。
- [**インストール**] をクリックして、選択したアップデートをシステムにインストールします。

メモ: インストール中に [キャンセル] をクリックした場合、**Dell Command | Update** は、すでに適用されているアップデートをロールバックせず、[ようこそ] 画面に戻ります。

アップデートの選択

[ようこそ] 画面で [チェック] をクリックすると、[**アップデートのチェック**] タスクが実行され、システムに使用可能なアップデートがあれば、[**選択されたアップデート**] 画面が表示されます。

アップデートの概要が、`update type <x of y; z MB>`の形式で見出しの横に表示されます (単位: メガバイト (MB))。

- 「x」はダウンロードするアップデートの数です
- 「y」は利用可能なアップデートの合計数です
- 「z」は利用可能なアップデートのサイズです

重要度に基づいて、アップデートは、次のように説明されます。

- 重要なアップデート** — システムの信頼性、セキュリティ、および可用性の向上のために重要なアップデートです。
- 推奨されるアップデート** — システムにインストールすることが推奨されるアップデートです。
- オプションのアップデート** — これらはオプションのアップデートです。
- Dell ドッキングソリューション** — これらのアップデートは Dell ドッキングソリューション用です。

メモ:

Dell ドッキングソリューションのオプションが選択されている場合：

- Dell ドッキングソリューション用のアップデートは、**選択のカスタマイズ** 画面では**選択解除**できません。
- 自動的にシステムを再起動（必要な場合）オプションが選択されており、**クリア**できません。
- システムは複数回再起動して、インストールを続行する場合があります。
- Dell ドッキングソリューションに含まれるアップデートがある場合は、1つまたは複数のカテゴリ（重要、推奨、オプション）が**選択**されて、**選択解除**できません。
- Dell ドッキングソリューション用に利用可能なアップデートがない場合は、Dell ドッキングステーションのオプションは**表示**されません。

以下の場合に、警告メッセージが表示されます。

- ・ インストールすべきアップデートに、中間バージョンのアップデートが必要な場合。アップデートに複数の内部依存関係がある場合、Dell Command | Update はインストール可能な最新のバージョンをインストールします。ただし、最新バージョンがない場合があります。このタスクでは、最新アップデートのバージョンをインストールするために、複数のアップデートサイクルが必要となります。詳細については、「[依存関係のインストール](#)」を参照してください。
- ・ 特定のアップデートは、電源アダプターがシステムに接続されるまでインストールできません。

選択のカスタマイズ

選択されたアップデート画面で**詳細表示**をクリックすると**選択のカスタマイズ**画面が表示されます。この画面には、システムに適用するアップデートの選択に役立つコンポーネントの名前、サイズ、およびリリース日などの使用可能なすべてのアップデートの詳細情報が、その他の情報と共にリストされます。アップデートは、割り当てられている重要度に基づいてグループ化されています。






表 1. 選択のカスタマイズオプション

ユーザーインタフェース	説明
重要なアップデート (x/y, z MB)	システムに適用できる重要なアップデートを表示します。重要アップデートの選択を変更することもできます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">・ アップデートの名前。・ アップデートのサイズで、アップデートをダウンロードするために必要なバイト数の概算を表示します。・ アップデートのリリース日。・ 情報アイコンは、アップデートに関して追加の詳細情報を提供します。アイコンにカーソルを合わせると、詳細情報が表示されます。・ アップデートの詳細ドキュメントへのリンクは、サポートサイトに記載されています。・ アップデートタイプと、その特定アップデートのインストール要件に基づいて、アップデートの左側にアイコンが表示される場合があります。
推奨アップデート (x/y, z MB)	システムで使用可能な推奨されるアップデートが表示されます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">・ アップデートの名前。・ アップデートのサイズで、アップデートをダウンロードするために必要なバイト数の概算を表示します。・ アップデートのリリース日。・ 情報アイコンは、アップデートに関して追加の詳細情報を提供します。アイコンにカーソルを合わせると、詳細情報が表示されます。・ アップデートの詳細ドキュメントへのリンクは、サポートサイトに記載されています。・ アップデートタイプと、その特定アップデートのインストール要件に基づいて、アップデートの左側にアイコンが表示される場合があります。
オプションアップデート (x/y, z MB)	システムで使用可能なオプションのアップデートが表示されます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">・ アップデートの名前。・ アップデートのサイズで、アップデートをダウンロードするために必要なバイト数の概算を表示します。

表 1. 選択のカスタマイズオプション (続き)

ユーザーインターフェース	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アップデートのリリース日。 ・ 情報アイコンは、アップデートに関して追加の詳細情報を提供します。アイコンにカーソルを合わせると、詳細情報が表示されます。 ・ アップデートの詳細ドキュメントへのリンクは、サポート サイトに記載されています。 ・ アップデートタイプと、その特定アップデートのインストール要件に基づいて、アップデートの左側にアイコンが表示される場合があります。
すべて選択	<p>インストール用の、重要、推奨、オプションのすべてのアップデートを選択します。</p> <p>i メモ: インストール要件を満たしていない場合、一部のアップデートを選択できないことがあります。たとえば、電源アダプターが接続されていない場合、または BitLocker が有効になっていても BitLocker の自動一時停止が有効になっていない場合などに、この問題が発生することがあります。</p>

表 2. 選択のカスタマイズオプション

ユーザーインターフェース	説明
	このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、アップデート パッケージを適用するために電源アダプターをシステムに接続してください。これはノートパソコンまたはタブレット システム上の BIOS またはファームウェア アップデートの場合のみに限られます。
	このアイコンが BIOS アップデートの横に表示されている場合、システムで BitLocker が有効になっていることがわかります。このアップデートを適用するには、設定で [BitLocker を自動的に一時停止する] オプションを選択する必要があります。
	これをクリックすると、ツールヒント ウィンドウにアップデートパッケージについての追加詳細情報が表示されます。
	これをクリックすると、 dell.com/support のウェブページが開き、このアップデートパッケージに関する詳細が表示されます。
	アップデートの横にこのアイコンが表示されている場合は、それがドッキングソリューションのアップデートの一部であることを示しています。

アップデートの横にあるチェックボックスを使用して、アップデート パッケージを選択します。列の一番上にあるチェックボックスを使用すると、[選択のカスタマイズ] 画面のすべてのアップデートの選択を切り替えます。

依存関係のインストール

Dell Command | Update は、アップデートパッケージを使用して、システムに対する最新のアップデートを判断します。アップデート パッケージには、BIOS、ファームウェア、ドライバー、アプリケーション、およびソフトウェアの拡張機能や変更が含まれています。通常、アップデートは自立していて、プリインストールと適用可能な依存関係を実行しますが、アップデートが次のように依存することがあります。

- ・ **内部依存関係:** これらのアップデートは同じアップデート タイプ (BIOS など) であり、特定の順序でインストールまたはアップデートする必要があるため、スキャンやアップデートが複数回必要になることがあります。

たとえば、システムにバージョン A01 の BIOS がインストールされていて、利用可能なアップデートはバージョン A05 で、バージョン A03 がバージョン A05 の前提条件であるとして。その場合、先にシステムをバージョン A03 にアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムをバージョン A03 にアップデートしてから、バージョン A05 にアップデートします。

i **メモ:** ユーザーによるシステム アップデートの開始後、1 つまたは複数の利用可能な最新バージョンへのアップデートが完了するまでに、システム アップデート サイクルが複数回必要です。

- ・ **相互依存関係:** コンポーネントのアップデートに異なるアップデート タイプの別の依存コンポーネントのアップデートが必要な場合は、選択したコンポーネントを推奨バージョンにアップデートする前に、依存コンポーネントをアップデートする必要があります。

たとえば、システムでファームウェアのアップデートが必要であるとして、システムのファームウェアをアップデートするには、先に、システム BIOS を必要最低限のバージョンにアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムのファームウェアをアップデートする前に、システム BIOS を必要なバージョンにアップデートします。

メモ: アプリケーションがシステム アップデートを開始すると、そのシステムのアップデート サイクルが複数回実行され、1つまたは複数の利用可能な最新バージョンにアップデートされます。

メモ: インストールするアップデートに依存関係がある場合、Dell Command | Update はアップデート プロセス中に情報アラートで通知を行います。

メモ: 非依存および相互依存アップデートは、内部依存アップデートの前にインストールされます。

Windows の再インストールのためのドライバの詳細な復元

新たにインストールされたオペレーティングシステムのデバイスドライバーをダウンロードしてインストールするには、次の手順に従います。

1. [ようこそ] 画面で [[ここをクリックして完全なドライバー ライブラリーをダウンロードしてインストールする](#)] をクリックします。

メモ: システムのドライバー ライブラリーをダウンロードするプロセスは、自動化されています。

メモ: このプロセスでは、従量制のネットワーク接続を使用している場合、コストがかかる場合があります。

[[ドライバー復元の準備中](#)] 画面が表示され、ドライバーがインストールされます。インストール中に表示されるさまざまなステータスメッセージを次に示します。

- コンポーネントのアップデートのチェック。
- システム デバイスのスキャン — システムをスキャンし、システム情報を収集します。
- システム ドライバー ライブラリーの検索 - ダウンロードするシステム ドライバー ライブラリーを決定します。
- ダウンロードの開始 - ドライバー ライブラリーのダウンロードを開始します。
- ドライバーの抽出 — システム ドライバー ライブラリーがダウンロードされたら、システムへインストールするためにドライバーを解凍します。
- インストールの準備 — オペレーティングシステムでデジタル署名を検証し、復元ポイントを作成します。
- ドライバのインストール - インストール状態は x/y 形式で表示され、ここで「x」はインストールされているドライバの数、「y」は使用可能なドライバの合計数を示します。ドライバのインストール後にシステムを自動で再起動するには、システムを自動的に再起動する (必要な場合) チェックボックスを選択します。
- インストールの完了 — ドライバーのインストール結果は x of y successful の形式で表示され、「x」はインストールされたドライバの数、「y」は使用可能ドライバーの数を示します。

このアクティビティを終了するには、[キャンセル] をクリックして [ようこそ] 画面に戻ります。

2. ドライバーのインストール完了後、[閉じる] をクリックして [ようこそ] 画面に戻ります。

システム ドライバーを最新バージョンにアップデートする手順の詳細については、「[アップデートのインストール](#)」セクションを参照してください。

アップデート履歴

[[アップデート履歴](#)] 画面では、これまでにシステムにインストールされたアップデートの詳細を表示することができます。詳細には、アップデート名、アップデートタイプ、アップデートが最後にインストールされた日付、およびシステムにインストールされたこのアップデートのバージョンが含まれます。

アップデート履歴の表示

アップデート履歴を表示するには、次の手順を実行します。

- ようこそ 画面で、[アップデートの履歴](#) をクリックします。
[[アップデート履歴](#)] 画面は、メイン画面の左ペインにあります。
- [閉じる] をクリックして、[ようこそ] 画面に戻ります。

システム情報の表示とエクスポート

システム情報を表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ画面で、**システム情報** をクリックします。
[システム情報] 画面には、名前、説明、オペレーティング システムのバージョン、BIOS、ドライバー、アプリケーションなどのシステムの詳細が表示されます。
2. [エクスポート] をクリックすると、システムの詳細が.xml 形式で保存されます。
3. [閉じる] をクリックすると、[ようこそ] 画面に戻ります。

アクティビティログ

アクティビティログは、システムにインポートされたアップデートを表示し、エラーや問題を追跡するのに役立ちます。Dell Command | Update で生成されたアクティビティは、次のように分類されます。

- ・ 通常 - 通常メッセージには、アップデートまたはエラーの細かな詳細情報が記述されています。
- ・ デバッグ - デバッグメッセージには、アップデートまたはエラーの詳細情報が記述されています。

ActivityLog.xml は、C:\ProgramData\Dell\UpdateService\Log に.xml 形式のテキスト ファイルとして保存されます。




ログのルート要素には、システムにインストールされている製品の名前とバージョンが含まれます。ルート要素の下の子要素は次のように表示されます。

表 3. ルート要素の下の子要素

エレメント名	説明
<level>	アクティビティ ログのレベル
<timestamp>	アクティビティが作成されたときのタイムスタンプ
<source>	アクティビティを生成したアプリケーション操作
<message>	アクティビティの詳細情報
<data>	アクティビティの追加情報


アクティビティログの表示とエクスポート

アクティビティログを表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ画面で、**アクティビティログ** をクリックします。
アクティビティログ画面が表示されます。
デフォルトでは、過去7日、15日、30日、90日間、または、1年間に実行されたアクティビティが表示されます。期間を設定するには、ドロップダウンリストから選択します。
2. ドロップダウンリストで、アップデートアクティビティを表示する日数を選択します。過去15日を選択すると、今日までの過去15日間に Dell Command | Update で実行されたアップデートアクティビティを表示できます。
 **メモ:**  をクリックすると、アプリケーション エラー メッセージなどのメッセージ ログ エントリに関する詳細情報を表示できます。この情報は、エクスポートされたログファイルでも利用できます。
 **メモ:** エラーまたは障害ログエントリの横にある **注意** をクリックして、可能性のある破損または問題を回避する方法についての情報を表示します。
3. 日付またはメッセージ タイプ順に列の順序を変更または並べ替えるには、[日付]、[メッセージ]、または [詳細] の横の▼をクリックします。
4. [エクスポート] をクリックすると、アクティビティログが.xml 形式でエクスポートされます。
5. **保存** をクリックして変更を保存する、または **キャンセル** をクリックして前回保存された設定に戻します。
6. [閉じる] をクリックすると、[ようこそ] 画面に戻ります。

ご意見をお聞かせください

製品に関してご意見、ご希望がある場合は、[ようこそ] ページの左ペイン下部にある [ご意見をお聞かせください] リンク オプションをクリックしてください。

 **メモ:** ご意見を匿名で公開することもできます。

Dell Command | Update の設定

設定画面で設定およびカスタマイズできるのは、アップデートのダウンロードおよび保管の場所、アップデートのフィルタ、アップデートをダウンロードするスケジュール、インターネットプロキシ、設定のインポートまたはエクスポート、およびドライバライブラリのダウンロード場所です。この画面には、次のタブがあります。

- ・ **一般** — アップデートをダウンロードして保管する場所、およびインターネット プロキシ設定の設定と変更の詳細については、「[一般設定](#)」を参照してください。
- ・ **アップデート設定** — システムアップデートのスケジュール設定についての情報は、「[アップデート設定](#)」を参照してください。
- ・ **アップデート フィルタ** — アップデートのフィルタ オプションの変更と保存についての情報は、「[アップデート フィルタ設定](#)」を参照してください。
- ・ **インポート/エクスポート** — 設定のインポートおよびエクスポートについての情報は、「[設定のエクスポートまたはインポート](#)」を参照してください。
- ・ **高度なドライバの復元** — ドライバライブラリをダウンロードする場所の設定の詳細については、「[高度なドライバの復元の設定](#)」を参照してください。
- ・ **BIOS** — BIOS パスワードをアプリケーション設定として保存する方法については、「[BIOS 設定](#)」を参照してください。
- ・ **サードパーティのライセンス** - 作成時に使用されたオープン ソース ソフトウェアの認証を表示することができます。

[**デフォルトの復元**] をクリックすると、デフォルト アプリケーション設定に戻ります。

メモ: 管理者によってポリシーが適用された場合は、デフォルトの復元 オプションは無効になります。

トピック：

- ・ [一般設定](#)
- ・ [アップデート設定](#)
- ・ [アップデートフィルタ設定の実行](#)
- ・ [設定のインポートまたはエクスポート](#)
- ・ [高度なドライバの復元の設定](#)
- ・ [BIOS](#)

一般設定

[**一般**] タブでは、ソース カタログの場所のアップデート、ダウンロード場所のアップデート、インターネット プロキシ設定の設定/変更したり、デルがアップデート エクスベリエンスの情報を収集することに同意したりできます。

一般設定を行うには、次の手順を実行します。

1. タイトルバーで **設定** をクリックします。
設定画面が表示されます。
 2. **ダウンロードファイルの場所** で、**参照** をクリックして、ダウンロードしたアップデートを保存するためのデフォルトの場所を設定するか、デフォルトの場所を変更します。
メモ: Dell Command | Update は、アップデートをインストールした後、この場所からアップデートファイルを自動的に削除します。
 3. **アップデートのソースの場所** の下で、**新規** をクリックして、アップデートをダウンロードする場所を追加します。詳細については、「[アップデート ソースの場所](#)」セクションを参照してください。
 4. 必要に応じて、インターネットプロキシ設定を行います。
 - ・ 現在のインターネットプロキシ設定を使用するには、**現在のインターネットプロキシ設定を使用** を選択します。
 - ・ プロキシサーバとポートを設定するには、**カスタムプロキシ設定** を選択します。プロキシ認証を有効にするには、[**プロキシ認証を使用**] チェックボックスをオンにして、プロキシ サーバー、プロキシ ポート、ユーザー名、パスワードを入力します。
- メモ:** ユーザー名とパスワードの資格情報は暗号化されて保存されます。
5. Dell 改善プログラムにオプトインするには、[**一般**] セクションの [**ユーザーの同意**] 下にある [**デルの製品およびサービスを向上する目的で、デルが情報を収集し、その情報を使用することを許可します**] オプションを選択します。

メモ: Dell 改善プログラムは、アプリケーションで実行される操作に関してデータを収集します。このデータは、Dell Command | Update の操作性向上のために役立てられます。

メモ: Dell 改善プログラムは、個人を特定できる情報 (PII) は収集しません。

- [OK] をクリックして変更を保存するか、または [キャンセル] をクリックして、設定を破棄してから [ようこそ] 画面に戻ります。

アップデートソースの場所

アップデートソースの場所には、設定されているすべてのアップデートソースの場所のリストが表示されます。

デフォルトの場所は、**downloads.dell.com** です。ただし、Dell Command | Update の複数のソース場所を追加し、アクセスしてアップデートを確認することができます。

ソースの場所を追加するには：

- [参照] をクリックします
- ファイルの場所に移動し、次に catalog.cab ファイルを選択します
- [+] をクリックして、新しいソース場所を追加します
- ソースの場所のエントリに関連付けられている上下の矢印をクリックして、これらの場所に優先順位を付けます
- [x] をクリックすると、そのソースの場所へのパスがリストから削除されます

メモ: Dell Command | Update は、最初のソース場所またはカタログを使用して、正常にロードします。Dell Command | Update は、リストされているそれぞれのソースの場所をロードしてそのコンテンツを集約することはありません。Dell Command | Update は、Dell.com サイトで利用できないソース場所の署名はチェックしません。

アップデート設定

特定のスケジュールでシステムアップデートを自動的にチェックするように、Dell Command | Update を設定できます。

アップデートをチェックするためのスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

- タイトルバーで **設定** をクリックします。
- 設定画面で、**アップデート設定** をクリックします。
- [**アップデートを自動的にチェックする**] > [**アップデートのチェック**] で、次のいずれかを選択します。
 - 手動アップデートのみ** - このオプションを選択した場合、Dell Command | Update はスケジュールされたアップデートを実行せず、このページのその他すべてのフィールドが非表示になります。アップデートを手動でチェックするには、[ようこそ] 画面で、[**チェック**] をクリックします。
 - 自動アップデート** - このオプションを選択した場合、Dell Command | Update はシステムで自動アップデートを実行します。アップデートのチェックは日ごとに実行されます。新しいアップデートが見つかった場合、[**アップデートが見つかったとき**] の設定により、実行されるアクションが決まります。
 - 週次アップデート** — このオプションを選択した場合、Dell Command | Update は週に 1 回システムでアップデートを実行します。[**曜日を選択**] と [**時刻を選択**] オプションでは、アップデートを実行する曜日と時刻を設定できます。
 - 月次アップデート** — このオプションを選択した場合、Dell Command | Update は月に 1 回システムでアップデートを実行します。[**日を選択**] と [**時刻を選択**] オプションでは、アップデートを実行する日付と時刻を設定できます。

メモ: 選択した日付が特定の月で使用できない場合、その特定の月の最終日にアップデートが実行されます。


アップデートが見つかったときに実行するアクションと表示する通知は、オプションで選択できます。このオプションは次のとおりです。

- 通知のみ** - アップデートがある場合
- アップデートをダウンロード** - アップデートをインストールする準備が整ったら通知します
- アップデートをダウンロードしてインストール** - アップデートが完了したら通知します

[**アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)**] を選択した場合は、システムを自動的に再起動させるまでの時間間隔を選択します。

- [OK] をクリックして変更を保存するか、または [キャンセル] をクリックして、設定を戻してから [ようこそ] 画面に戻ります。

アップデートをチェックするアクティビティをスケジュールした後でアップデートが使用可能になると、アップデートのリストが **インストールの準備完了** 画面に表示されます。

 **メモ:** Dell Command | Update を終了して、アップデートのスケジュールを実行します。

アップデートフィルタ設定の実行

[アップデートフィルタ] タブでは、アップデート フィルタ基準に基づいてフィルタを構成できます。

アップデートフィルタ設定を実行するには、次の手順を実行します。

1. タイトルバーで **設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**アップデートフィルタ** をクリックします。
3. **ダウンロード対象** から次のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ **このシステム設定のアップデート (推奨)** — このオプションを選択して、お使いのシステムの設定に固有の利用可能なすべてのアップデートを取得します。
 - ・ **このシステムモデルのすべてのアップデート** — このオプションを選択して、お使いのシステムモデルで利用可能なすべてのアップデートを取得します。
4. **アップデートのカスタマイズ** で、アップデート推奨レベル、アップデートのタイプ、デバイスカテゴリを選択します。
5. [**OK**] をクリックして変更を保存するか、または [**キャンセル**] をクリックして、前回保存された設定に戻してから [**よろこ**] 画面に戻ります。

設定のインポートまたはエクスポート

[インポート/エクスポート] タブを使用すると、設定を.xml ファイル形式で保存できます。.xml ファイルを使用することにより、別のシステムに設定を転送したり、別のシステムからインポートしたりすることもできます。これらの.xml ファイルを使用して、組織内にインストールされているすべての Dell Command | Update のインスタンスに共通した設定を作成することができます。

設定をインポートまたはエクスポートするには、次の手順を実行します。


1. タイトルバーで **設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**インポート/エクスポート** をクリックします。
3. [**エクスポート**] をクリックして、Dell Command | Update の設定を.xml 形式でシステムに保存します。
4. [**インポート**] をクリックして、以前にエクスポートした設定ファイルから Dell Command | Update の設定をインポートします。
5. [**OK**] をクリックして変更を保存するか、または [**キャンセル**] をクリックし、設定に戻してから [**よろこ**] 画面に戻ります。

高度なドライバの復元の設定

高度なドライバの復元 タブでは、新品または整備済みシステム用にドライバライブラリをダウンロードする場所を設定することができます。

高度なドライバの復元を設定するには、次の手順を実行します。

1. タイトルバーで **設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**高度なドライバの復元** をクリックします。
3. [**有効**] をクリックして、[**よろこ**] 画面の [**Windows 再インストールのための高度なドライバーの復元**] オプションを表示します。

 **メモ:** この機能は、デフォルトで次のようになります。

- ・ お使いのシステムに **Dell Command | Update** をインストールすると、高度なドライバー復元再インストール機能が有効になります。
 - ・ **Dell Command | Update** が工場ですべてインストールされる場合、高度なドライバー復元再インストール機能が無効になっています。
 - ・ システムでのドライバのインストール後、この機能は無効になります。
4. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ **dell.com/support** サイトからドライバライブラリをダウンロードする (推奨)。
 - ・ **指定されたドライバライブラリを使用します** : ローカルまたはネットワーク上の場所からドライバライブラリをダウンロードするには、**参照** をクリックして場所を指定します。

5. [OK] をクリックして変更を保存するか、または [キャンセル] をクリックして、前回保存された設定に戻してから [よろこ] 画面に戻ります。

BIOS

システムパスワード

1. タイトルバーで **設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**BIOS** をクリックします。
3. システムパスワードウィンドウの **パスワード** フィールドに値を入力します。パスワード フィールドを表示するには、**パスワードを表示** をクリックします。
 - ① **メモ:** パスワード フィールドの値は、**設定** タブを閉じて再度開いた場合でも引き続き表示されます。
 - ① **メモ:** BIOS で [システム パスワード] が設定されている場合は、BIOS アップデートを実行するために同じパスワードが必要です。
4. **デフォルトの復元** をクリックして、パスワード フィールドが空欄であることを確認します。

BitLocker の一時停止

システムの起動ドライブで BitLocker 暗号化が有効になっている場合でも、Dell Command | Update では、BIOS アップデートをインストールできます。この機能には、BIOS のアップデート中は BitLocker を一時停止し、BIOS のアップグレード後に BitLocker 暗号化を再開するオプションがあります。

Dell Command | Update では、[**BitLocker を自動的に一時停止する**] チェックボックスが BIOS 設定画面に示され、次の警告メッセージが表示されます。「**警告：ドライブのセキュリティを確保するため、BitLocker ドライブ暗号化の自動的な一時停止はセキュアな環境で実行する必要があります**」

BitLocker が有効になっている場合は、次のオプションが適用されます。

- ・ BIOS アップデートが利用可能で選択されており、[**BitLocker を自動的に一時停止する**] オプションもオンになっている場合、[**自動的にシステムを再起動 (必要な場合)**] オプションはオンになります。このオプションは、デフォルトでは無効になっています。BIOS アップデートのインストール時に、BitLocker は一時的に停止され、BIOS アップデートが適用されます。BIOS アップデートやその他のアップデートを適用すると、BIOS アップデートを完了するためにシステムが自動的に再起動され、BitLocker が再び有効になります。
- ・ [**選択されたアップデート**] 画面にリストが表示される場合、BIOS アップデートの左側に BitLocker アイコンが表示されます。
- ・ [**BitLocker を自動的に一時停止する**] をオフにすると、BIOS アップデートもオフ (無効) になります。
 - ① **メモ:** このアイコンにカーソルを合わせると、「このシステムでは **BitLocker** が有効になっているため、このアップデートはブロックされています」という追加の詳細情報が表示されます。このアップデートをインストールする場合は、BIOS 設定ペインで [**BitLocker を自動的に一時停止する**] をオンにしてください。
- ・ BIOS アップデートをインストールする必要がある場合に、BitLocker を自動的に一時停止できるように、Dell Command | Update コマンドライン インターフェイスには、同等のコマンドライン オプション `-autoSuspendBitLocker=<enable|disable>` が用意されています。OS 起動ドライブで BitLocker が有効になっている場合、このオプションを無効にすると、BIOS アップデートのインストールがブロックされます。詳細については、「[Dell Command | Update コマンドライン インターフェイス オプション](#)」セクションを参照してください。

Dell Command | Update コマンドラインインターフェイス

Dell Command | Update は、バッチおよびスクリプト作成セットアップで使用できるアプリケーション形式のコマンドラインバージョンを提供します。CLI は完全に自動化されており、インタラクティブなユーザープロンプトはありません。CLI を使用すると、管理者は自動化されたリモート導入インフラストラクチャを使用してさらにアップデートできます。この時点では、コマンドラインインターフェイスは基本オプションを提供し、アプリケーションの UI バージョンで実行できる機能のすべては含まれません。

CLI を実行するには、**管理者**としてコマンドプロンプトを起動して、**%PROGRAMFILES%\Dell\CommandUpdate** に移動し、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe` コマンドを実行します。

Dell Command | Update で利用可能なコマンドとオプションに関して詳細情報を表示するには、`dcu-cli.exe /help` を実行します。

① メモ:

- 一部のアップデートは、電源アダプタがシステムに接続されていなければインストールできません。
- 一部のアップデートでインストールを完了するために再起動が必要な場合でも、システムが自動的に再起動することはありません。

トピック:

- ・ [コマンドラインインタフェースリファレンス](#)
- ・ [コマンドラインインターフェイスのエラーコード](#)

コマンドラインインタフェースリファレンス

次の表には、Dell Command | Update で使用可能な CLI オプションに関する情報がリストされています。

CLI 構文は次のとおりです。

```
<command> -option1=value1 -option2=value2 -option3=value3...
```

① **メモ:** コマンドを指定するときに、スラッシュの後にスペースを入れないでください。

表 4. Dell Command | Update CLI コマンド

CLI オプション	説明	構文	サポートされているオプション
/help	使用方法に関する情報を表示します。 ① メモ: このコマンドとともに指定された他のコマンドはすべて無視されます。	<code>dcu-cli.exe /help</code>	適用なし
/version	バージョンを表示します。 ① メモ: このコマンドとともに指定された他のコマンドはすべて無視されます。	<code>dcu-cli.exe /version</code>	適用なし
/configure	サポートされているオプションの設定に基づいて、Dell Command Update を設定できます。 ① メモ: ここで渡されるオプションには永続性があり、システムではアプリケーションライフを通じて利用できます。	<code>dcu-cli.exe /configure -
<option>=<value></code> Examples: <code>dcu-cli.exe /configure -userConsent=disable</code>	<code>-importSettings</code> <code>-exportSettings</code> <code>-lockSettings</code> <code>-advancedDriverRestore</code>

表 4. Dell Command | Update CLI コマンド (続き)

CLI オプション	説明	構文	サポートされているオプション
			<p>- driverLibraryLocation</p> <p>-catalogLocation</p> <p>- downloadLocation</p> <p>-updateSeverity</p> <p>-updateType</p> <p>- updateDeviceCategory</p> <p>-userConsent</p> <p>-biosPassword</p> <p>-customProxy</p> <p>- proxyAuthentication</p> <p>-proxyHost</p> <p>-proxyPort</p> <p>-proxyUserName</p> <p>-proxyPassword</p> <p>-scheduleWeekly</p> <p>-scheduleMonthly</p> <p>-scheduleManual</p> <p>-scheduleAuto</p> <p>-scheduleAction</p> <p>-scheduledReboot</p> <p>-silent</p> <p>-outputLog</p> <p>-restoreDefaults</p> <p>- autoSuspendBitLocker</p> <p>相互に排他的なオプション</p> <p>これらのオプションは、以下に示す特定のコマンドでは使用できません。</p> <p>- importSettings、- exportSettings、- lockSettings</p> <p>① メモ: このオプションは、- outputLog、-</p>

表 4. Dell Command | Update CLI コマンド (続き)

CLI オプション	説明	構文	サポートされているオプション
			<p>silent を除く他のオプションとは併用できません。</p> <p>-scheduleAuto、-scheduleManual、-scheduleMonthly、-scheduleWeekly</p>
/scan	<p>システム スキャンを実行して、現在のシステム構成のアップデートを判断します。</p> <p>① メモ: ここで渡されるオプションは、その時点での実行で 1 回だけ使用されます。</p>	<pre>dcu-cli.exe /scan -<option>=<value> Ex: dcu-cli.exe /scan dcu-cli.exe /scan dcu-cli.exe /scan - updateType=bios,firmware</pre>	<p>-silent</p> <p>-outputLog</p> <p>-updateSeverity</p> <p>-updateType</p> <p>-updateDeviceCategory</p> <p>-catalogLocation</p> <p>-report</p>
/applyUpdates	<p>現在のシステム構成を対象として、すべてのアップデートを適用します。</p> <p>① メモ: ここで渡されるオプションは、その時点での実行で 1 回だけ使用されます。</p>	<pre>dcu-cli.exe /applyUpdates - <option>=<value> Ex: dcu-cli.exe /applyUpdates dcu-cli.exe /applyUpdates - silent dcu-cli.exe /applyUpdates - updateType=bios,firmware</pre>	<p>-silent</p> <p>-outputLog</p> <p>-updateSeverity</p> <p>-updateType</p> <p>-updateDeviceCategory</p> <p>-catalogLocation</p> <p>-reboot</p> <p>-encryptedPassword</p> <p>-encryptedPasswordFile</p> <p>-encryptionKey</p> <p>-autoSuspendBitLocker</p> <p>必須オプション:</p> <p>これらのオプションは、以下に示す特定のコマンドとともに指定する必要があります。</p> <p>-encryptedPassword および -encryptionKey</p> <p>-encryptedPassword</p>

表 4. Dell Command | Update CLI コマンド (続き)

CLI オプション	説明	構文	サポートされているオプション
			dFile および-encryptionKey
/driverInstall	<p>新たにインストールしたオペレーティングシステムに、現在のシステム構成のベースドライバーをすべてインストールします。</p> <p>① メモ: ここで渡されるオプションは、その時点での実行で 1 回だけ使用されます。</p>	<pre>dcu-cli.exe / driverInstall - <option>=<value> Ex: dcu-cli.exe / driverInstall dcu-cli.exe / driverInstall - silent</pre>	<p>- driverLibraryLocation</p> <p>-silent</p> <p>-outputLog</p> <p>-reboot</p>
/generateEncryptedPassword	暗号化された BIOS パスワードを生成します。	<pre>dcu-cli.exe / generateEncryptedP assword - encryptionKey=<in- line value> dcu-cli.exe / generateEncryptedP assword -password <in-line value> - outputPath=< folder path ></pre>	<p>-password</p> <p>-outputPath</p> <p>-encryptionKey</p> <p>必須オプション:</p> <p>これらのオプションは、以下に示す特定のコマンドとともに指定する必要があります。</p> <p>-password および-encryptionKey</p>

表 5. Dell Command | Update CLI オプション

CLI オプション	説明	構文	予想される値
-advancedDriverRestore	高度なドライバー復元機能を UI で有効または無効にする操作を、ユーザーに許可します。	dcu-cli.exe /configure -advancedDriverRestore=disable	<enable disable>
-autoSuspendBitLocker	BIOS アップデートの適用時に BitLocker の自動一時停止を有効または無効にする操作を、ユーザーに許可します。	dcu-cli.exe /configure -autoSuspendBitLocker=disable	<enable disable>
-biosPassword	暗号化されていない BIOS パスワードを入力する操作を、ユーザーに許可します。パスワードが入力されていない場合、または "" が入力された場合、パスワードはクリアされます。メモ: 値は二重引用符で囲む必要があります。	dcu-cli.exe /configure -biosPassword="Test1234"	<password "">
-catalogLocation	リポジトリ/カタログ ファイルの場所を設定する操作を、ユーザーに許可します。/applyUpdates に指定する場合、1 つのパスのみを指定できます。	dcu-cli.exe /configure -catalogLocation=C:\catalog.xml	1 つ以上のカタログ ファイルパス。
-customProxy	カスタム プロキシの使用を有効または無効にする操作を、ユーザーに許可します。 ① メモ: このオプションを有効に設定すると、すべての	dcu-cli.exe /configure -customProxy=enable	<enable disable>

表 5. Dell Command | Update CLI オプション (続き)

CLI オプション	説明	構文	予想される値
	<p>カスタム プロキシ設定が検証されます。</p>		
-downloadLocation	<p>特定の場所を指定してデフォルトのアプリケーション ダウンロード パスを上書きする操作を、ユーザーに許可します。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - downloadLocation=C:\Temp \AppDownload</pre>	<p>フォルダーのパス</p>
-driverLibraryLocation	<p>システム ドライバー カタログの場所を設定する操作を、ユーザーに許可します。このオプションが指定されていない場合、ドライバ ライブラリーは Dell.com からダウンロードされます</p> <p>メモ: 機能するネットワーク コンポーネントが必要です</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - driverLibraryLocation=C:\Temp \DriverLibrary.cab</pre>	<p>.cab 拡張子が付いたファイル パス</p>
-encryptionKey	<p>暗号化キーを指定してパスワードを暗号化する操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>メモ: 入力するキーは、空白を含まない 6 文字以上の文字列で、大文字、小文字、数字を含める必要があります。またこの値は二重引用符で囲む必要があります。</p>	<pre>dcu-cli /applyUpdates - encryptedPassword="myEncryptedPassword" - encryptionKey="myEncryptionKey" dcu-cli / generateEncryptedPassword - encryptionKey="myEncryptionKey" - password="myPassword" - outputPath=C:\Temp</pre>	<p><encryption key></p>
-encryptedPassword	<p>生成に使用した暗号化キーとともに暗号化パスワードをインラインで渡す操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>メモ: このオプションとともに、-encryptionKey を指定する必要があります。またこの値は二重引用符で囲む必要があります。</p>	<pre>dcu-cli /applyUpdates - encryptedPassword="myEncryptedPassword" - encryptionKey="myEncryptionKey"</pre>	<p><encrypted password></p>
-encryptedPasswordFile	<p>暗号化パスワードをファイルで渡す操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>メモ: このオプションとともに、-encryptionKey を指定する必要があります。</p>	<pre>dcu-cli /configure - encryptedPasswordFile=C:\Temp \EncryptedPasswordFile.txt- encryptionKey="myEncryptionKey"</pre>	<p>.txt 拡張子が付いたファイル パス</p>
-exportSettings	<p>指定したフォルダー パスにアプリケーション設定をエクスポートする操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>メモ: このオプションは、-outputLog、-silent を除く他のオプションとは併用できません。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - exportSettings=C:\Temp</pre>	<p>フォルダーのパス</p>
-importSettings	<p>アプリケーション設定ファイルをインポートする操作を、ユーザーに許可します。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - importSettings=C:\Temp \Settings.xml</pre>	<p>.xml ファイル パス</p>

表 5. Dell Command | Update CLI オプション (続き)

CLI オプション	説明	構文	予想される値
	<p>① メモ: このオプションは、<code>-outputLog</code>、<code>-silent</code> を除く他のオプションとは併用できません。</p>		
<code>-lockSettings</code>	<p>UI の設定をすべてロックする操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>① メモ: このオプションは、<code>-outputLog</code>、<code>-silent</code> を除く他のオプションとは併用できません。</p>	<code>dcu-cli.exe /configure -lockSettings=enable</code>	<enable disable>
<code>-outputLog</code>	<p>コマンド実行のステータスと進行状況情報を特定のログパスに記録する操作を、ユーザーに許可します。</p>	<code>dcu-cli.exe /scan -outputLog=C:\Temp\scanOutput.log</code>	.log 拡張子が付いたファイルパス
<code>-outputPath</code>	<p>暗号化パスワードファイルの保存先フォルダーパスを指定する操作を、ユーザーに許可します。</p>	<code>dcu-cli.exe /generateEncryptedPassword -encryptionKey="myEncryptionKey" -password="myPassword" -outputPath=C:\Temp</code>	フォルダーのパス
<code>-password</code>	<p>暗号化パスワードを指定する操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>① メモ: このオプションとともに、<code>encryptionKey</code> を指定する必要があります。またこの値は二重引用符で囲む必要があります。</p>	<code>dcu-cli.exe /generateEncryptedPassword -encryptionKey="myEncryptionKey" -password="myPassword"</code>	パスワード
<code>-proxyAuthentication</code>	<p>プロキシ認証の使用を有効または無効にする操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>① メモ: このオプションを変更すると、すべてのカスタムプロキシ設定が検証されます</p>	<code>dcu-cli.exe /configure -proxyAuthentication=enable</code>	<enable disable>
<code>-proxyHost</code>	<p>プロキシホストを指定する操作を、ユーザーに許可します。このオプションの値として空の文字列を指定すると、プロキシホストがクリアされます。</p> <p>① メモ: このオプションを変更すると、すべてのカスタムプロキシ設定が検証されます。</p>	<code>dcu-cli.exe /configure -proxyHost=proxy.com</code>	<FQDN IP address "> 完全修飾ドメイン名 (FQDN)
<code>-proxyPassword</code>	<p>プロキシパスワードを指定する操作を、ユーザーに許可します。このオプションの値として空の文字列を指定すると、プロキシパスワードがクリアされます。</p> <p>① メモ: このオプションを変更すると、すべてのカスタムプロキシ設定が検証され</p>	<code>dcu-cli.exe /configure -proxyPassword="my password"</code>	<password ">

表 5. Dell Command | Update CLI オプション (続き)

CLI オプション	説明	構文	予想される値
	<p>ます。値は二重引用符で囲む必要があります</p>		
-proxyPort	<p>プロキシポートを指定する操作を、ユーザーに許可します。このオプションの値として空の文字列を指定すると、プロキシポートがクリアされます。</p> <p>① メモ: このオプションを変更すると、すべてのカスタムプロキシ設定が検証されます。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - proxyPort=8080</pre>	<port number ">
-proxyUserName	<p>プロキシユーザー名を指定する操作を、ユーザーに許可します。このオプションの値として空の文字列を指定すると、プロキシユーザー名がクリアされます。</p> <p>① メモ: このオプションを変更すると、すべてのカスタムプロキシ設定が検証されます。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - proxyUserName="john doe"</pre>	<user name ">
-reboot	<p>システムが自動的に再起動します (必要な場合)。</p>	<pre>dcu-cli.exe /applyUpdates - reboot=enable</pre>	<enable disable>
-report	<p>適用可能アップデートのXMLレポートを作成する操作を、ユーザーに許可します。</p>	<pre>dcu-cli.exe /scan - report=C:\Temp \UpdatesReport.xml</pre>	.xml ファイルパス
-restoreDefaults	<p>デフォルト設定を復元する操作を、ユーザーに許可します。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - restoreDefaults</pre>	なし
-scheduleAction	<p>アップデート検出時に実行されるアクションを指定する操作を、ユーザーに許可します。</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - scheduleAction=NotifyAvailableUpdates</pre>	<NotifyAvailableUpdates DownloadAndNotify DownloadInstallAndNotify >
-scheduleAuto	<p>デフォルトの自動アップデートスケジュールを有効にする操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>① メモ: 自動アップデートは3日ごとに実行されます。またこのオプションは、次のオプションとは併用できません</p> <p>-scheduleManual -scheduleWeekly -scheduleMonthly</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - scheduleAuto</pre>	なし
-scheduleManual	<p>自動スケジュールを無効にし、手動アップデートのみを有効にする操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>① メモ: このオプションは、次のオプションとは併用できません</p> <p>-scheduleAuto</p>	<pre>dcu-cli.exe /configure - scheduleManual</pre>	なし

表 5. Dell Command | Update CLI オプション (続き)

CLI オプション	説明	構文	予想される値
	<ul style="list-style-type: none"> -scheduleWeekly -scheduleMonthly 		
-scheduleMonthly	<p>アップデートのスケジュール時に月内の日付と時刻を指定する操作を、ユーザーに許可します。スケジュールした日付がその月の最終日よりも大きな数字であった場合、その月の最終日にアップデートが実行されます。</p> <p>① メモ: このオプションは、次のオプションとは併用できません</p> <ul style="list-style-type: none"> -scheduleManual -scheduleAuto -scheduleWeekly 	dcu-cli.exe /configure -scheduleMonthly=28,00:45	Date of month[1-31],time[00:00(24 hr format, 15 minutes increment)]
-scheduleReboot	<p>アップデート適用後の再起動時間を分単位でスケジュールする操作を、ユーザーに許可します。</p>	dcu-cli.exe /configure -scheduleReboot=5	<0 5 15 60> (Note:0=Never reboot)
-scheduleWeekly	<p>アップデートのスケジュール時に曜日と時刻を指定する操作を、ユーザーに許可します。</p> <p>① メモ: このオプションは、次のオプションとは併用できません</p> <ul style="list-style-type: none"> -scheduleManual -scheduleAuto -scheduleMonthly 	dcu-cli.exe /configure -scheduleWeekly=Mon,23:45	day[< Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat >],time[00:00(24 hr format, 15 minutes increment)]
-silent	<p>コンソールのステータス情報と進行状況情報を非表示にする操作を、ユーザーに許可します。</p>	dcu-cli.exe /scan -silent	なし
-updateDeviceCategory	<p>デバイスタイプに基づいてアップデートをフィルターする操作を、ユーザーに許可します。</p>	dcu-cli.exe /configure -updateDeviceCategory=network,storage	[オーディオ、ビデオ、ネットワーク、ストレージ、入力、チップセットなど]
-updateSeverity	<p>重大度に基づいてアップデートをフィルターする操作を、ユーザーに許可します。</p>	dcu-cli.exe /configure -updateSeverity=recommended,optional	[重要、推奨、およびオプション]
-updateType	<p>アップデートタイプに基づいてアップデートをフィルターする操作を、ユーザーに許可します。</p>	dcu-cli.exe /configure -updatetype=bios	[BIOS、ファームウェア、ドライバー、アプリなど]
-userConsent	<p>アップデート体験情報をオプションまたはオプトアウトでデルに送信する操作を、ユーザーに許可します。</p>	dcu-cli.exe /configure -userConsent=disable	<enable disable>

BitLocker が有効になっている場合、以下が適用されます。

- ・ -autoSuspendBitLocker が**有効**になっており、BIOS アップデートが利用可能で、さらに BIOS アップデートがインストールされている場合、BitLocker はインストール プロセスの実行時に一時停止されます。BIOS アップデートやその他のアップデートをインストールすると、BIOS アップデートを完了するためにシステムが自動的に再起動され、BitLocker が再び有効になります。アップデートの適用前に、次の警告メッセージがコンソールに表示されます

警告： BIOS アップデートが選択され、このシステムの BitLocker が有効になっているため、BIOS アップデートを効果的に適用できるように、BitLocker はインストール時に一時的に停止されます。BIOS アップデートやその他のアップデートを適用すると、BIOS アップデートを完了するためにシステムが自動的に再起動され、BitLocker が再び有効になります。

-autoSuspendBitLocker が無効に設定されている場合、CLI は適用可能なアップデートから BIOS アップデートを削除し、残りのアップデートをインストールします。次の警告メッセージがコンソールに表示されます

警告： 利用可能なアップデートが1つ以上スキップされます。これらのアップデートをインストールすると、BitLocker によってシステムがロックされる可能性があります。この状況を回避するには、BitLocker の一時停止を有効にし、これらのアップデートのインストールをやり直してください。

コマンドラインインターフェイスのエラーコード

表 6. 一般的なアプリケーション リターン コード：

リターン\エラーコード	説明	解像度
0	コマンドは正常に実行されました	NA
1	操作の実行から再起動が必要でした	システムを再起動し、操作を完了します。
2	不明なアプリケーション エラーが発生しました	NA
3	現在のシステム メーカーはデルではありません	Dell Command Update は、Dell システムでのみ実行できます。
4	CLI は管理者権限で起動されませんでした	管理者権限で Dell Command Update CLI を呼び出します。
5	以前の操作からの再起動が保留されていました	システムを再起動し、操作を完了します。
6	同じアプリケーションの別のインスタンス (UI または CLI) がすでに実行されています。	Dell Command Update UI または CLI の実行中のインスタンスをすべて閉じて、操作を再試行します。
7	アプリケーションは現在のシステム モデルをサポートしていません	現在のシステム モデルがカタログでサポートされていない場合は、管理者にお問い合わせください。
8	アップデート フィルターが適用または構成されていません	1つ以上のアップデート フィルターを指定してください。

表 7. さまざまな入力検証の評価中に表示されることがあるリターン コード：

リターン\エラーコード	説明	解像度
100	コマンドライン パラメーターの評価中に、パラメーターが検出されませんでした	コマンドは、コマンドラインで指定する必要があります。
101	コマンドライン パラメーターの評価中に、コマンドが検出されませんでした	有効なコマンドとオプションを指定してください。詳細については、「 コマンドライン インターフェイス リファレンス 」セクションを参照してください。
102	コマンドライン パラメーターの評価中に、無効なコマンドが検出されました	コマンドとそのコマンドでサポートされるオプションを指定します。詳細については、「 コマンドライン インターフェイス リファレンス 」セクションを参照してください。
103	コマンドライン パラメーターの評価中に、重複するコマンドが検出されました	重複するコマンドを削除し、コマンドを再実行します。詳細については、「 コマンドライン インターフェイス リファレンス 」セクションを参照してください。
104	コマンドライン パラメーターの評価中に、コマンド構文が間違っていました	必ずコマンド構文「/ <code><コマンド名></code> 」に従ってください。詳細については、「 コマン

表 7. さまざまな入力検証の評価中に表示されることがあるリターンコード:(続き)

リターン\エラーコード	説明	解像度
		ドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
105	コマンドライン パラメーターの評価中に、オプション構文が間違っていました	必ずオプション構文「-<オプション名>」に従ってください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
106	コマンドライン パラメーターの評価中に、無効なオプションが検出されました	必ず、必須のオプションをすべて指定するか、サポートされているオプションのみを指定してください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
107	コマンドライン パラメーターの評価中に、特定オプションの指定値が無効でした	許容値を指定してください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
108	コマンドライン パラメーターの評価中に、一部の必須オプションが検出されませんでした	コマンドの実行に必須オプションが必要な場合は、そのオプションを指定してください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
109	コマンドライン パラメーターの評価中に、無効なオプションの組み合わせが検出されました	相互に排他的なオプションを削除して、コマンドを再実行してください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
110	コマンドライン パラメーターの評価中に、複数のコマンドが検出されました	/help と /version は例外ですが、コマンドラインに指定できるコマンドは1つだけです。
111	コマンドライン パラメーターの評価中に、重複するオプションが検出されました	重複するオプションを削除し、コマンドを再実行してください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。
112	無効なカタログが検出されました	指定されたファイルパスが存在すること、拡張子の種類が有効であること、SMB、UNC、URL が有効であること、無効な文字がないこと、255文字を超えていないこと、必要な権限があることを確認してください。詳細については、「コマンドライン インターフェイス リファレンス」セクションを参照してください。

表 8. /scan コマンドの実行中に表示されることがあるリターンコード:

リターン\エラーコード	説明	解像度
500	スキャン操作の実行中にシステムのアップデートが見つかりませんでした	システムは最新です。または、指定されたフィルターのアップデートが見つかりませんでした。フィルターを修正し、コマンドを再実行します。
501	スキャン操作の実行中にシステムで使用できるアップデートを判断しようとしてエラーが発生しました	操作をやり直してください。

表 8. /scan コマンドの実行中に表示されることがあるリターンコード:(続き)

リターン\エラーコード	説明	解像度
502	キャンセルが開始されたため、スキャン操作がキャンセルされました	操作をやり直してください。
503	スキャン操作の実行中にファイルをダウンロードしようとしてエラーが発生しました	ネットワーク接続を確認し、インターネットに接続されていることを確認してから、コマンドを再試行します。

表 9. /applyUpdates コマンドの実行中に表示されることがあるリターンコード:

リターン\エラーコード	説明	解像度
1000	アップデート適用操作の結果を取得しようとしてエラーが発生しました	操作をやり直してください。
1001	キャンセルが開始されたため、アップデートの適用操作がキャンセルされました	操作をやり直してください。
1002	アップデートの適用操作の実行中にファイルをダウンロードしようとしてエラーが発生しました	ネットワーク接続を確認し、インターネットに接続されていることを確認してから、コマンドを再試行します。

表 10. /Configure コマンドの実行中に表示されることがあるリターンコード:

リターン\エラーコード	説明	解像度
1500	アプリケーション設定のエクスポート中にエラーが発生しました	フォルダーが存在するか、フォルダーへの書き込み権限があるかを確認してください。

表 11. /driverInstall コマンドの実行中に表示されることがあるリターンコード:

リターン\エラーコード	説明	解像度
2000	高度なドライバー復元操作の結果を取得しようとしてエラーが発生しました	操作をやり直してください。
2001	高度なドライバー復元プロセスが失敗しました	操作をやり直してください。
2002	高度なドライバー復元操作に対して、複数のドライバー CAB が指定されました	ドライバー CAB ファイルは必ず 1 つだけ指定してください。
2003	ドライバー インストール コマンドの入力値として、ドライバー CAB の無効なパスが指定されました	指定されたファイルパスが存在すること、拡張子の種類が有効であること、SMB、UNC、URL が有効であること、無効な文字がないこと、255 文字を超えていないこと、必要な権限があることを確認してください。詳細については、「 コマンドライン インターフェイス リファレンス 」セクションを参照してください。
2004	キャンセルが開始されたため、ドライバーのインストール操作がキャンセルされました	操作をやり直してください。
2005	ドライバーのインストール操作の実行中にファイルをダウンロードしようとしてエラーが発生しました	ネットワーク接続を確認し、インターネットに接続されていることを確認してから、コマンドを再試行します。

表 12. パスワード暗号化の入力の評価中に表示されることがあるリターンコード：

リターン\エラーコード	説明	解像度
2500	暗号化パスワードの生成操作の実行中に、パスワードを暗号化しようとしてエラーが発生しました	操作をやり直してください。
2501	指定された暗号化キーでパスワードを暗号化しようとしてエラーが発生しました	有効な暗号化キーを指定し、操作を再試行します。詳細については、「 コマンドライン インターフェイス リファレンス 」セクションを参照してください。
2502	指定された暗号化パスワードは、現在の暗号化方式と一致しません	指定された暗号化パスワードに、以前の暗号化方式が使用されました。パスワードをもう一度暗号化してください。

表 13. Dell Client Management Service に問題がある場合に表示されることがあるリターンコード：

リターン\エラーコード	説明	解像度
3000	Dell Client Management Service が実行されていません	Dell Client Management Service が停止している場合は、Windows サービスで開始します。
3001	Dell Client Management Service がインストールされていません	Dell サポート サイトから Dell Client Management Service をダウンロードしてインストールします。
3002	Dell Client Management Service が無効になっています	Dell Client Management Service が無効になっている場合は、Windows サービスで有効にします。